



【人と人、人と社会のつながり】

つながりの可能性

人と人がつながってできている社会も、一人ひとりの思いがそのあり方を変えます。たった一人の積極的な働きかけが予想を超えて広がり、大きな変化をもたらすことがあります。コンピュータの世界を革命的に変えた「※リナックス」は、その最大規模の現象でしょう。

当時学生だったリーナス・トーバルズ氏は、自分で開発したコンピュータ基本ソフトをインターネット上で公開し、改良をよびかけました。すると、世界中のプログラマーが修正、機能強化に参加し「リナックス」が誕生したのです。彼は「常に変化し続ける複雑な状況の中では、すべてが一か所に集中するのではなく、多くの人に参加し続ける方法が一番うまく機能する」と考えています。自由参加という新しいつながりから、よりよい成果が得られたのです。

「人々がしなければならぬことを望むるときに、社会はもっともよく機能する」と精神分析学者のエーリッヒ・フロムが言っていますが、リナックスにみられるように、個人の自発的な参加が社会をよりよくなり、問題の解決もうながします。個人も社会もつながりの構築に意識を向けていくべきでしょう。

※リナックス

コンピュータの基本ソフトウェアの一つ。誰でもコードを閲覧したり修正ができる「オープンソースコード」が特徴。原型は1991年にインターネットで公開され、徹底した情報の共有で改良された。安定性で定評があり、世界的に利用が広がっている。

